

(申請者本人用)

食費等の物価高騰の影響により、申請者または扶養義務者等の収入が減少した場合はチェックを記入してください。

○「低所得の子育  
さい。

○下記にある【要

※申請者と生計を同じくす

の対象となります。

※申請者と生計を同じくす...などがある場合は、その方の年間収入見込額も勘案して支給を決定します。

と親世帯分) 申請書 (請求書)」と一緒に御提出くだ

① 下記にチェック (☑) してください。

食費等の物価高騰の影響により、家計が急変しました。

養育費【A】任意に指定した月(記入例では令和5年1月)に養育費の受け取りがある場合はその受け取り額を記入してください。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、収入が減少した場合にチェックしてください。

養育費【A】任意に指定した月(記入例では令和5年1月)に養育費の受け取りがある場合はその受け取り額を記入してください。

給与収入【B】任意に指定した月(記入例では令和5年1月)に給与収入がある場合は、所得税や控除等を差し引く前の収入額を記入の上、該当月の給与明細の写し等を確認書類としてご提出ください。

事業収入又は不動産収入【C】任意に指定した月(記入例では令和5年1月)に事業収入または不動産収入がある場合は、経費等を差し引く前の収入(売上)額を記入の上、該当月の帳簿の写し等を確認書類としてご提出ください。

年金収入【a】任意に指定した月(記入例では令和5年1月)の分として受け取った年金がある場合、受け取り合計額(非課税の年金も含む)を記入の上、年金額改定通知の写し等を確認書類としてご提出ください。  
児童扶養手当相当額【b】上記 a に記入した方は、この表をご参照いただき、児童数に応じた金額をご記入ください。

【A+B+C+D】を記入してください。(月の収入額を算出)  
収入額が0円の場合は、「無収入に関する申立書」をご提出ください。

		令和5年1月														
収入内訳	養育費【A】														円	※給与収入 ※給与
	給与収入【B】														円	※事業 ※帳簿
	事業収入又は不動産収入【C】														円	
	年金相当収入【D】 (a - b)														円	
	年金収入【a】														円	※公的年金 ※遺族年金・障害年金などの非課税の年金等も含まれます
	児童扶養手当相当額【b】														円	※
収入合計額 【A+B+C+D】														円	※	

※上記以外の収入については、記載不要です。

※児童扶養手当相当額早見表 (月額)

申請日時点での児童数	※参考 (月額)
児童0人	0円
児童1人	10,160円
児童2人	15,250円
児童3人	18,300円
児童4人	21,350円

※5人以上いる場合は、1人増えるごとに3,050円(月額)を加算してください。

× 12

③②の収入合計額を12倍した金額を御記入ください。

②で求めた収入合計額×12を記入してください。(年間収入額を算出)

年間収入見込額

→扶養親族が1人の場合には、③が365万円未満であれば【要件2】を満たすため、④の記載は不要です。

(次ページに続きます。)

申請者が父母以外の養育者の場合はこちらにチェックを入れてください。

④要件に該当するか確認してください。

(1) 以下のフローチャートにより、収入基準を選択してください。

属性	<input type="checkbox"/> 父母	<input type="checkbox"/> 父母以外の養育者
----	-----------------------------	-----------------------------------

申請者が父母の場合はこちらにチェックを入れてください。

- 以下のいずれかに該当する児童の養育者ですか。
- ・父が死亡又は生死不明かつ母がない児童
  - ・母が死亡又は生死不明かつ父がない児童
  - ・母がなく、かつ、父が法令により引き続き1年以上拘禁されている児童
  - ・母が婚姻によらないで懐胎した児童であって、母が死亡したもの又は母の生死が明らかでないもの
  - ・父がなく、かつ母が法令により引き続き1年以上拘禁されている児童
  - ・父母が法令により引き続き1年以上拘禁されている児童
  - ・母が婚姻によらないで懐胎した児童に該当するかどうか明らかでない児童

いいえ

はい

収入基準 A	収入基準 B
--------	--------

申請者が任意に指定した月(記入例では令和4年3月)において所得税法上扶養している方の氏名をご記入ください。

扶養している親族又は養っている親族以外の児童の氏名を御記入ください。【☆】

収入基準Aの方			収入基準Bの方	
フリガナ 氏名	該当する場合は◎又は○		フリガナ 氏名	該当する場合は○
	16歳以上23歳未満の親族【◎】	70歳以上の親族、配偶者【○】		70歳以上(配偶者以外)の親族
1			1	
2				
3				
			5	

申請者が任意に指定した月において16歳以上23歳未満の親族の場合には◎を入れてください。

上記(2)で記入した人数にチェックを入れてください。

(3) (2)で御記入いただいた方の人数にチェックをしてください。

(2)の人数にチェックしてください。	基準額
<input checked="" type="checkbox"/> 0人	3,114,000円
<input type="checkbox"/> 1人	3,650,000円
<input type="checkbox"/> 2人	4,125,000円
<input type="checkbox"/> 3人	4,600,000円
<input type="checkbox"/> 4人	5,075,000円
<input type="checkbox"/> 5人	5,550,000円
<input type="checkbox"/> 6人以上	円

※6人以上いる場合は、1人増えるごとに475,000円を加算してください。

(2)の人数にチェックしてください。	基準額
<input checked="" type="checkbox"/> 0人	3,114,000円
<input type="checkbox"/> 1人	3,650,000円
<input type="checkbox"/> 2人	4,125,000円
<input type="checkbox"/> 3人	4,600,000円
<input type="checkbox"/> 4人	5,075,000円
<input type="checkbox"/> 5人	5,550,000円
<input type="checkbox"/> 6人以上	円

上記(1)(2)で記入した内容からiiiの金額人数を算出し、この額よりも表面の「③年間収入見込額」が下回っていることを確認してください。上回っている場合は、様式第9号「簡易な所得見込額の申立書」の要件を満たす場合には、支給対象となります。

(4) 要件に該当するかどうか計算を行ってください。

i (3)で選択した基準額	円
ii (2)の◎の数×150,000円	円
iii (2)の○の数×100,000円	円
収入基準額(i + ii + iii)	円
年間収入見込額(表面の③)	円

i (3)で選択した基準額	円
ii (2)の○の数×60,000円	円
(○以外の氏名がない場合は、○の数を1つ減らして計算)	円

ご確認の上、必ずすべての項目にチェックを入れてください。チェックが漏れている場合は確認のためご記入いただいた電話番号へ連絡確認させていただきます。

→【要件2】③の年間収入見込額が収入基準額を上回る場合は、支給対象となります。

※表面の【要件2】を満たさない場合でも、「簡易な所得見込額申立書」の要件を満たす場合は、支給対象となります。

【確認事項】(各項目のチェックを必ず行ってください。)

- 【要件】に該当しています。
- 収入額が分かる書類(給与明細書や年金額改定通知書等)を提出しています。
- 今後1年間に収入の多い時期がある、臨時の収入がある時期があるなどの事情により、今後1年間の収入見込額が収入基準額を上回ることが明らかであるものではありません。
- 本申立の内容に相違ありません。

必ず自署してください。

年 月 日

申請者氏名